

事業所名 さわらび通所支援事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			十分なスペースがある
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			均等な人数で休憩するなど極端な手薄にならないようにしている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			ご利用者の行動パターンに沿って、器材を移動するなど事前に危険を排除している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			各専門職員の取り組み幅を広げるよう検討する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			定期的なアンケートの実施により、頂いたご意見を各職員と検討し改善に繋げる
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			平成31年3月11日付でホームページで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			法人全体で取り組みの準備を進めている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			さわらび療育園の研修に参加している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			計画作成時のみでなく、随時ニーズを確認し支援に反映させている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			法人内各通所事業所で統一したアセスメント表を使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			チームで関わっているが特定の職員に偏らないように配慮している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			月間予定を作成している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			長期休暇に入る際は、ご家族と相談し清潔ケア等を入念に行っている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			活動内容はご利用者の好みに合わせ組み替えている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			送迎対応の時間差により、開始前にできない場合は業務用連絡板の使用や口頭での連絡により確認し合い、日中の時間のミーティング再確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			送迎対応の時間差により、終了後にできない場合は業務用連絡板の使用や口頭での連絡により確認し合い、日中の時間のミーティングで再確認している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			個人ごとの記録の他、ミーティング等で検証し、改善を図っている

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを実施し、必要時は計画見直しをしている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			概ね実施できている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			○	当該利用者は休校日のみの利用であり、学校への送迎等がない。連絡調整等は家族で行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医師からの情報の提供をいただいて、必要時確認している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	就学前児童の登録者が0名であったため、情報共有等の機会がなかったが、新規のご利用者があった際には連携に努めたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			サービス担当者会議などを通じ、情報提供を実施している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	法人内の児童発達支援センターとは連携が取れているが、そこでの研修には参加できなかった。今後は研修への参加を図りたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	情報共有等を行っているが、積極的な関わりはない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートを活用する等、日々のご利用者の状況を伝達し合い、送迎時等に直接お話しする等、共通理解に努めている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ご家族からの相談等を受ける中で、アドバイス等させていただくことはある	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時にご家族に丁寧に説明しご理解を得ている他、必要時には適宜十分な説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時実施し、必要に応じ相談支援事業所に繋ぐ等を行う
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	ご家族からの要望意見をお聞きして、必要な場合はご家族同士の連携を支援する

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応窓口を設け、素早く対応するよう心掛けている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			療育園広報誌「はんの樹」の通所支援事業所の欄に寄稿を行っている	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			法人の規程に沿っている	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			トーキングエイドの使用や、連絡ノートには専門用語の記載をしない等わかりやすくお伝えしている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			ボランティア等を受け入れ、技能を活かし活動していただいている	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			法人内各通所支援事業所と見直しを行っており、状況を見て周知をする
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			法人の防災計画に則って実施
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修の他、日頃の職員ミーティングでも虐待防止を周知し、意識の定着を図る	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーについては指示書の確認の他、食事の配膳前に必ずチェックしている	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例はまとめてあり、確認できるようにしている	